



クリップピッチを

小さくすることによるデメリット

デメリットの対策として

グリーンの状態やグリーン管理スケジュールに合わせて、リール回転数を変更することにより、ランニングコストの低減とメンテナンス作業時間の短縮及び、グリーンに対するストレスの低減を図ることが出来るのでは？と考えます。